

<机差岳朝日に映えて⑨ 令和6年8月6日>



関川の子らは、大したもんじゃ

～チャレンジ 100 に参加して～

教育長 津野庄一郎

待望の夏休み。恒例の関川チャレンジ 100（第 9 回）が 7 月 26 日（金）～30 日（火）4 泊 5 日で開催され、希望した関川小の 5・6 年生と関川中の 1 年生 15 名が、米沢市内の斜平（なでら）山 634m 及び越後十三峠（米沢街道の古道）の約 100 キロを全員完歩しました。お見事という他なし。子どもたちのたくましさやさしさに大きな拍手を送り、共に喜びを分かち合いたいと思います。完歩した子らにとって、この挑戦はかけがえのない思い出となり、自信となって深く胸に刻まれることでしょう。最後までやり抜く力、仲間と協働する力、自分をコントロールする力は、座学では容易に身につかないもの。ここで培った力をきっと自分の将来に生かしてほしいと願います。

開催するにあたり、事務局兼隊長の佐藤前教育長と私（実行委員長）は、6 月から現地の下見調査を重ねました。また、訓練試歩と称して保護者同伴の山行を 3 回行い、当日はサポートカーを 2 台配備して、熱中症予防対策の水かけや水分の補給、個人の宿泊道具や団体装備の輸送等に当たりました。歩行の安全を確保するために登山経験豊富な大人が各班に入り、自衛隊のスタッフ（2 名）や過去に参加した高校生（2 名）も本隊に加わりました。さらに熊との遭遇を避けるために各人鈴を身に付け、時に全体で大きな号令をかけたり、爆竹を鳴らしたりするなど事故対策には万全を期しました。途中マダニやカメバチに遭遇した子どももいましたが、診療所の平田医師等に適切に処置をしていただき大事に至らずに済みました。

前日、山形県北部では大雨洪水・土砂災害警報が発令され、現地米沢方面の天候が心配されましたが、幸い当日、雨雲は東に遠のいて薄雲がかかり、大雨や猛暑になりませんでした。5 日間を通じて天候に恵まれたことが何よりも有難かったです。私自身最後尾 80 キロ余りを歩いてみて、子どもの命と安全を守る上で、本イベントは経験豊富で強靱な体力をもち、全体を統率できる隊長がいること、趣旨に賛同して協力を惜しまない方々や保護者がいて初めて実施できることを痛感。それでも関川の未来を担う子らのあの頑張り笑顔に、保護者や地域の皆さんと共に、「大したもんじゃ」と心からエールを送りたいと思います。

【写真】左：ロードを歩く 右：大里峠山頂でのスナップ